

## Report on Ewha-Luce International Seminar 2017

理学専攻 北川めぐみ

期間：2017年6月26日から2017年7月13日

場所：韓国、ソウル、梨花女子大学（Ewha Womans University）

参加者：アメリカ及び東アジア諸国でSTEM分野を専攻する女性大学院生（アメリカから11名、韓国から8名、日本から2名、中国・ベトナムからそれぞれ1名ずつ）

内容：Ewha-Luce国際セミナーは、梨花女子大学とルース財団の支援により開催され、2015年から2018年にかけて毎年実施される。Expanding Horizonsという副題のもと、STEM分野と称される理工学専攻の女性大学院生20名あまりが共同で、プレゼンテーション力をはじめとするグローバルリーダーに不可欠な能力を磨く合宿型のセミナーである。期間中の宿泊場所は梨花女子大学キャンパス内に所在する寮で、2人部屋をアメリカ人とアジア人の組で使用した。また、研修内容の講義やパネルディスカッションのために大学教授や産業界のリーダー的存在である人物など合計17名の講演者が招かれたうえ、運営をサポートするスタッフ約30名もセミナーの進行を支えた。本セミナーにおける参加者の主な課題は一般向けのフォーラムにおいて各自割り当てられた主題に沿ってプレゼンテーションをすることであり、それに向けた小論文やスライド・ポスター作成等の事前課題にはセミナーの2ヶ月程前から取り組んだ。そのほか、セミナー内で割り振られたグループごとに課題設定から方法を検討しその結果等をまとめて最終日に報告するという、チーム作業を重視した研修や課題も盛り込まれていた。さらに、開催地が韓国であることから現地の歴史的建造物や世界自然遺産の訪問並びに伝統芸能の鑑賞・体験といった、異文化交流の機会も豊富に設けられていた。最終日の修了式では各学生に修了証が手渡され、バレエダンサーの演舞による祝福の中セミナーは閉幕した。その日の夕食会では研修中の写真を一冊にまとめたアルバムも贈られ、全参加者が歓喜した。

感想：本セミナーを通して得られたことのうち自身に大きな影響を与えたものは、STEM分野における女性大学院生間の国際的ネットワークの獲得、英語プレゼンテーションの経験、異文化交流体験である。特に印象的な出来事は、プレゼンテーションの事前練習とオープンフォーラム当日である。指導者を含む小グループ練習会とフォーラム前日に有志が集まった自主的な練習に参加した。英語での発表のことをひどく心配していたが、どちらの機会でも必ず肯定的なフィードバックをもらえたことが自信を持つことに役立った。特に、「発表中のきびきびとしたジェスチャーが良いね、私も真似したい！」という言葉がかけられたことは少し意外で、意識していなかったことにも気づくことができたので、共同の自主練習に積極的に参加したことはとても

効果的だった。フォーラム当日には皆が発表の成功という同じ目的を達成するために一体感が生まれ、お互いに励ましあったりハイタッチで無事終了の喜びを共有したりしたことを今でもよく覚えており、その時は自分も **ELIS** 参加者として少しは貢献できただろうという達成感を得られた。

全体的な感想としては、想像を上回る大変充実した 18 日間となり今回参加する機会を得られたことは非常に幸運であると感じた。研修中だけでなく休日の自由時間にも海外の人々とのコミュニケーションを通して人の親切心や友好的な振る舞いで助け合う場面から学ぶことが多くあり、今回の参加者らとの出会いはとても価値があるように思えた。韓国での経験を体験談にするだけでなくその成果を大いに発揮していくことが自身の次の課題となった。

ご支援いただいたグローバルリーダーシップ研究所の先生方に感謝申し上げます。